

佐賀県嬉野市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	45,601,400	30,609,400	75,776,300	68%	森林所有者と協定を締結し、市有林の森林整備を実施する
譲与額（円）	83,114,000	28,366,000	111,480,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
		うち 森林環境譲与税		
森林整備	森林経営管理事業	27,075,400	27,075,400	上不動地区において森林所有者と協定を締結し、間伐（A=28.77ha）等を実施した。
人材育成	林業事業体支援事業	3,037,000	3,037,000	林業等の成長産業化と森林の公益的機能発揮の両立を目的とし、市内林業事業体へ担い手確保・育成支援事業等を実施した。
林道整備	林道維持管理事業	497,000	497,000	自治会内に存する林道の林道維持管理事業を実施した。
合計		30,609,400	30,609,400	

■今後の実施計画

①令和7年度森林経営管理事業

前年度までに意向調査・林況調査を行った五町田地区（塩田町）の森林整備を実施予定。（予定面積約20ha）



②嬉野市市有林Jクレジット創出事業

嬉野市では、「嬉野市脱炭素推進事業計画」を策定し、具体的な脱炭素に向けた取組を推進。その中で嬉野市市有林を活用したJクレジットの創出・活用を行うことで持続可能な森林保全の推進を図り森林の様々な公益的機能の実現を図る。

令和7年度は、対象森林の選定・プロジェクト計画書作成・審査機関への申請等を予定している。